PAT-NO:

JP356079561A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 56079561 A

TITLE:

MONITORING SYSTEM FOR ONE'S PRESENCE IN ROOM

PUBN-DATE:

June 30, 1981

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

JIN, KATSUYUKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HITACHI LTD

N/A

APPL-NO:

JP54156399

APPL-DATE:

December 4, 1979

INT-CL (IPC): H04M003/42, H04M011/00

US-CL-CURRENT: 379/111

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable to render quick message **service**, by regarding a room as being attended by a personnel with the condition that the state of door left open or the state of making a call from an extension telephone set is detected with the presence detecting means provided correspondingly to the extension telephone sets concerning the **presence** monitoring, based on the **presence** monitoring information.

CONSTITUTION: If no response is made available for a telephone call from the front to a guest room, a presence monitor information is transmitted to a message wating adaptor 2 and the corresponding guest room number is transmitted to an interface unit 9, for storage. In the unit 2, the detected output of a door switch 3 is received with the reception of monitor information and it is transmitted to a network 7, and the off-hook information of an extension telephone set 1 is received and the call information is transmitted to the network 7. With this state, when a lodging guest returns to the room and opens the door, the detected output is transmitted, call display is made to the exchanger, and when this is detected by a marker 8, the calling extension

allocation information is transmitted to the unit 9 and the pressure information is transmitted to a massage waiting display panel 10.

COPYRIGHT: (C)1981,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭56-79561

⑤Int. Cl.³ H 04 M 3/42 // H 04 M 11/00 識別記号

庁内整理番号 7406—5K 6372—5K 砂公開 昭和56年(1981)6月30日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 5 頁)

60在室監視方式

②特 願 昭54-156399

②出 願 昭54(1979)12月4日

⑩発 明 者 神克之

横浜市戸塚区戸塚町216番地株

式会社日立製作所戸塚工場内

卯出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区丸の内1丁目5

番1号

個代 理 人 弁理士 福田幸作

外1名

明 細 書

発明の名称 在室監視方式

府許請求の範囲

- 2. 特許請求の範囲第1項記載のものにおいて、 中央制御装置は、在室監視に係る内線電話機の 発呼表示の検出により、該内線電話機に対して テーブサービス接続を行うごとくした在室監視

方式。

- 3. 特許請求の範囲第1項または第2項記載のものにおいて、在室監視手段は、在室監視情報に基づき、当該内線電話機のオフフックを検出し、または当該ドアの開放によつて閉じるドアスイッチ接点によるループを検出し、もしくは引込み、これを電話交換機に対する発呼表示としりるごとくした在室監視方式。
- 4. 特許請求の範囲第1項、第2項または第3項 記載のものにおいて、在室監視手段は、当該内 線電話機に係る制御線の電話交換機の通話接線 にともなり地気を受け、該地気の存続中、在室 監視情報による在室監視状態を解除しりるごと くじた在室監視方式。

発明の詳細な説明

本発明は、海内電話交換システム、等に、ホテル用電話交換システムにおける客室の在室監視方式に関するものである。

従来、ホテル用電話交換システムにおいて、メ ツセージウェイテイングサービスという機能が設

(2)

けられているものがある。

この機能は、フロントから宿泊客に伝言を伝える場合、宿泊客をその客室内線電話機で呼出しても不在のため伝言を伝えることができないとき、メンセージ操作盤でその客室対応の電鍵を操作すると、客室内線電話機付属の表示ランプを見て客室電話機によりフロントに間合せ、フロントからその伝言を伝えるようにするものである。

しかしながら、宿泊客が客室に戻つても、その 表示ランプの点灯に気付かず、フロントに問合せ をしなかつたときには、その伝育を伝えるととが できない。

緊急の伝言の場合、フロントでは、頻繁に電話 で宿泊客の帰室を確認しなければならず、これは、 手数が掛かり、また、大変不便なものである。

本発明の目的は、上配した従来技術の欠点をなくし、迅速な伝言サービスを行うことができる在 室監視方式を提供することにある。

本発明の特徴は、在室監視情報に基づき、その

(8)

ても応答しないと、一応、その答案の宿泊客は不 在とみなす。

フロントでは、メッセージウエイテイング表示 整10の電纜を操作し、当該客室対応の表示ラン ブを点灯せしめるとともに、当該メッセージウエ イテイング付加ユニット2へ在室監視情報を送出 し、更に、インタフエースユニット9へ当該客室 内線番号を送出する。

インタフェースユニット 9 は、この客室内線番号を受信し、これを内蔵の記憶装置に記憶せしめる。

一方、メッセージウエイテイング付加ユニット 2 は、通常、スルーに内線電話機1をネットワーク7へ接続しているが、在室監視情報の受信により、ドアスイッチ3の検出出力を引込んでネットワーク7個へ送出するようにし、かつ、内線電話機1のオファク情報を受信して発呼情報をネットワーク7の検出出力もしくは内線電話機1のオファク情報を受信して発呼情報をネットワーク7 在室監視に保る内線電話機対応に設けられた在室 検出手段により、その室のトアの開放状態または 内線電話機の発呼状態を検出し、これによつて在 室となつたものとみなす在室監視方式にある。

以下、本発明の実施例を図面に従つて説明する。 第1図は、本発明に係る在室監視方式の一実施 例のブロック図である。

とこで、1は、客室に散けられている内線電話機(EXT)、2は、在室検出手段に係るメッセージウエイテイング付加ユニット(MAU)、3は、同ドアスイッチ(DS)、4は、トーキ装置(TKE)、5は、メッセージウエイテイング呼出トランク(MWCT)、6は、内線相互トランク(IOT)、7は、ネットワーク(NW)、8は、中央制御装置に係るマーカ(M)、9は、同インタフエースユニット(IFU)、10は、操作・表示手段に係るメッセージウエイテイング表示盤(MIND)である。

フロントに客室の宿泊客に伝言 (メッセージ) があり、フロントからその客室に電話呼出しをし

(4)

側へ送出するよりにする状態となる。

この状態で、宿泊客が客室に戻り、ドアを開けるとドアスイッチ3の検出出力(たとえば、ルーブ信号)がメッセージウエイテイング付加ユニット2を通してネットワーク7個へ送出され、交換機に対して発呼表示を行う。

内線電話機1がオフフックされた場合も、 同様、 メッセージウェイティング付加ユニット2は、 これを検出してループ信号をネットワーク7 側へ送 出し、交換機に対して発呼表示を行う。

マーカ8は、この発呼表示をネットワーク7経 由で検出すると、ダイヤルトーン接続動作を行う が、一方、その際に検出した発呼内線収容位置情 報をインタフエースユニット9へ送出する。

インタフェースユニット 9 は、この発呼内線収容位置情報を受信すると、これを内線番号に変換し、メッセージウェイテイング表示盤 1 0 から受信・配憶している内線番号と照合し、一致するものがあると、当該内線番号に保る在室情報をメッセージウェイティング表示盤 1 0 へ送出する。

(6)

メッセージウエイテイング表示盤10は、この 在室情報を受信すると、当該在室監視情報を停止 するとともに、連続点灯していた当該表示ランプ を点核させることにより、フロントに対し当該宿 泊客が帰室したことを表示する。

メッセージウエイティング付加ユニット 2 は、 在室監視情報の停止により、平常状態にもどり、 内線電話機 1 とネットワーク 7 との間をスルーに する。

一方、インタフェースユニット9は、発呼内線 収容位置情報を受信したとき、メンセージウエイ テイング呼出トランク5を起動して発呼状態にし た後、それ自身により、またはそれを介して当該 内線番号ダイヤルを送出せしめる。

このダイヤルにより、マーカ8は、一般内線電 話機の場合と同様、ネットワーク7を介し、メッ セージウエイテイング呼出トランク5を内線相互 トランク6によつて当該内線電話機1へ接続し、 それを呼出さしめる。

当該内線電話機1か応答状態になると、メッセ (7)

一実施例の回路図である。

ことで、2Aは、メッセージウェイテイング付加ユニット、Mおよびm°~m°は、その在室監視情報受信リレーおよびその接点、Lおよびとは、同発呼後出リレーおよびその接点、COおよびcoは、同カットオフリレーおよびその接点、Bは、同保護抵抗、Eは、同一48V電源、3Aは、ドフスイッチ、dsは、その接点、8Wは、メッセージウェイテイング表示盤10の在室監視情報送出用の電纜である。

以下、第2図の実施例の動作を説明するが、便 宜上、たとえば、在室監視情報受信リレーMおよび びその接点m°~m³は、単に、リレーMおよび 接点m°~m³のごとく称することとする。

まず、メッセージウエイテイング表示盤10からの在室監視情報は、電纜SWの操作により、地気がメッセージウエイテイング付加ユニット2AのリレーMに与えられ、リレーMが動作する。

リレーMが動作すると、その接点m[®] , m¹ に よつて内線電話機1の通話線がリレーLの動作回 ージウエイテイング呼出トランク5がこれを検出してトーキ装置4を起動し、伝言がある旨の通知、たとえば、「伝言がありますので、××番まで電話して下さい。」というような内容のテーブサービスを行うことができる。

このようなテーブサービスは、必ずしも必要ではなく、たとえば、フロントにおいて、メッセージウェイテイング表示盤10の表示ランプの点放によつて宿泊客の帰室を知り、当該客室の内線電話機1をフロントから呼出し、伝言を電話によつて伝えることもできる。

なお、在室監視情報の送出中、当該内線電話機 1 に係る発着信があつた場合、メッセージウェイ テイング付加ユニット 2 は、その発着信接続によ る当該内線に係る制御線の地気を受信し、これに よつて当該内線電話機1 に係る在室監視情報を一 時的に解除し、その発着信通話を通常通りに行わ しめることができる。

次に、第2図は、第1図におけるメッセージウェイティング付加ユニットおよびその関連部分の

(8)

路側に引込まれ、また、接点m² , m³ によつて 当該内線の通話線A, Bがドアスイッチ3A側に 引込まれ、一応、内線電話機1とネットワーク7 個が分離されて在室監視状態となる。

この状態で、たとえば、宿泊客が帰室してドアが開かれると、ドアスイッチ3Aの接点ds が閉じるので、接点m², m³を通して通話線A, Bがループ状態となり、当該内線が発呼状態となる。

なお、ドアが開かれなくても、内線電話機 1 が オフフックされると、接点 m[®] , m¹ を通してリ レー L に地気、 - 4 B V 電源が供給されるので、 リレー L が動作し、その接点 L によつて通話線 A , B がループ状態となり、上記と同様になる。

その結果、第1図について前述したごとく、交換機関で帰室検出動作が行われ、メッセージウェイティング表示盤10の表示ランプが点滅して在室表示をし、在室監視情報が解除され、また、テーブサービスが行われる。

在室監視情報の解除により、リレーMが復旧し、 メッセージウエイテイング付加ユニット2Aが平

· (10)

常状態に戻り、内線電話機1とネットワーク7との間の通話線A,Bは、スルーとなる。

なお、在室監視状態中に、当該内線電話機1から発信しようとしてオファックされると、上配のととく、リレーLが動作し、その接点とによつて発呼表示がなされるので、交換機関の発呼接続の進行に応じて、制御線Cに地気が送出されるため、その地気でリレーCOが動し、その接点coによりリレーMの動作回絡が断たれてリレーMが復旧し、在室監視状態は、一時的に解除され、内線電話機1からの発信が正常に行われる。

また、着信があつた場合にも、制御線Cに地気 が送出されるので、同様、内線電話機1に対する 着信は、正常に行うととができる。

更に、第3図は、第1図におけるメッセージウェイティング付加ユニットおよびその関連部分の 他の実施例の回路図である。

ことで、2Bは、メンセージウエイテイング付加ユニット、3Bは、ドアスイッチ、ds は、その接点、Dは、同ダイオード、その他の符号は、

(11)

線をドアスイッチ3Bに対して共用することができ、第2図の実施例のごときドアスイッチ3Bに対する別系統の配線が不要となり、経済的である。

との実施例においては、ドアスインチ3 Bが通 話線に並列に接続されているが、通話中にドアが 開けられても、通常の通話には何の影響も与えな

それは、一般に、通話状態において、通話線 B の方が通話線 A よりも電位が高く、ダイオード D がカットオフ状態となり、ドアスイッチ 3 B が接続されていないことと同等の状態となるからである。

なか、とのダイオードDがなくても、通話中心 ドアが開閉される機会は、必ずしも頻繁でなく、 また、開閉されたとしても、長時間ではないので、 通話線の短絡によつて実用上通話内容に支障を来 たすととはない。

なお、第2図、第3図いずれの実施例において も、必ずしも、リレーCOは必要ではない。

すなわち、リレーCOを削除して、その関連個

(13)

第2図におけるそれと均等のものである。

なお、以下の説明で、各りレーおよびその接点 の名称については、第2図の場合と同様に略称す ることとする。

との実施例は、原理的には第2図と同様であるが、ただ、トアスイッチ検出出力の扱い方が異なるのみで、その他の動作は、第2図のものと同様である。

すなわち、ドアが開かれて、ドアスイツチ3Bの接点doが閉じると、ダイオードDを通したループにより、接点mo, mi を通して地気, -48 V電源EがリレーLに供給され、リレーLが動作する。

リレーLが動作すると、その接点とによつて発 呼表示がなされる。

これは、内線電話機1のオファックによる発呼 表示と統一したもので、以後の動作は、第2図の 実施例と同様である。

ドアスイッチ3Bと内線電話機1とは、一般に、 様く近い距離にあるので、内線電話機1への通話

(12)

所を直通にすれば、制御線Cからの地気によつて リレーMを短絡復旧させ、在室監視状態の一時的 解除をするととができる。

以上、詳細に説明したように、本発明によれば、 簡単な操作で、自動的に在電監視を行うことがで きるので、迅速、かつ、確実な伝管サービスの実 現に顕著な効果が得られる。

なお、本発明を応用すれば、ドアスイッチの他、 ドアロック状態の監視なども同様な方法で可能で あり、ホテル用電話交換システムのサービス向上 に寄与することができる。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明に係る在室監視方式の一実施 例のブロック図、第2図は、第1図におけるメッセージウェイティング付加ユニットおよびその関連部分の一実施例の回路図、第3図は、同じく他の実施例の回路図である。

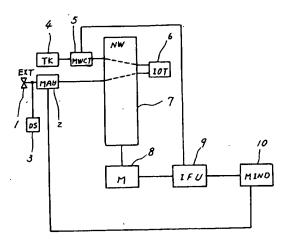
1 …内線電話機、2,2A,2B…メッセージウエイテイング付加ユニット、3,3A,3B…ドアスイッチ、4…トーキ装置、5…メッセージウ

(14)

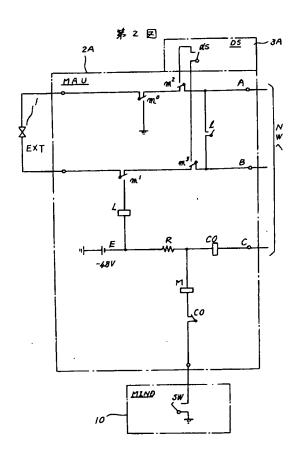
エイテイング呼出トランク、 6 …内線相互トランク、 7 …ネットワーク、 8 …マーカ、 9 …インタフェースユニット、 1 0 …メッセージウエイテイング表示盤、 Mおよびm° ~m° …メッセージウエイテイング付加ユニット 2 A, 2 Bにおける在室監視情報受信リレーおよびその接点、 L むよびん…同発呼検出リレーおよびその接点、 C O むよび c 。 …同力ットオフリレーおよびその接点、 R … に同保緩抵抗、 E …同一 4 8 V 電源、 d s …ドアスイッチ 3 A, 3 Bの接点、 D …ドアスイッチ 3 Bのダイオード。

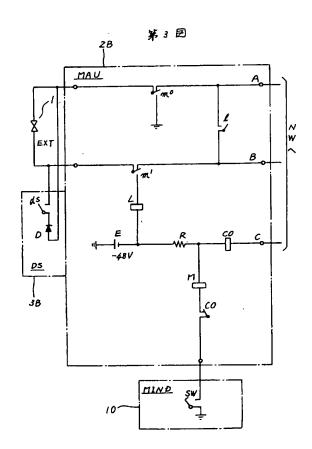
代理人 弁理士 福田幸作 (ほか1名)





(15)





-305-